

【参考文献・資料】

『神奈川県史』資料編 11 近代・現代 (1)

『神奈川県史』通史編 4 近代・現代 (1)

『神奈川県教育史』資料編 第二卷

『神奈川県教育史』資料編 第三卷

『綾瀬市史』 3 資料編 近代

綾瀬市史資料叢書 5 『綾瀬村事務報告書』

『綾瀬市教育史』年表編・資料編 1

『綾瀬の教育よみの三十撰』

〔大正十一年二月三日以降〕

小学校々舎焼失全新築ニ関スル書類仮綴 (*)

〔大正十年～十二年 庶務書類 諸契約証〕 (*)

〔大正十二年 震災書類〕 (*)

〔大正十二年至大正十三年 村会会議録及議決書〕 (*)

〔町債台帳〕 (*)

〔大正十年～昭和五年 決算書〕 (*)

〔明治三十八年 寄付者台帳 現金の部〕 (*)

〔尋常高等小学校建築日誌〕 (*)

〔昭和七年度 支出命令書〕 (*)

〔大正十一年～昭和六年 小学校一覽表〕 (*) 綾瀬小学校旧蔵

「綾瀬小学校沿革誌」 綾瀬小学校蔵

『綾瀬小学校八十年史』

「綾瀬小学校写真アルバム」

大和市教育資料第一集『学校日誌抄稿』

大和市教育資料第二集『学校日誌抄稿』

座間市教育史 年表編

『神奈川県教育会五十年史』

『相模教育』（創刊号・第三号・第五号）高座郡教育会発行

『横浜貿易新報』

『資料日本教育実践史 1』三省堂

(*) 印の資料は、綾瀬市所蔵。

關係資料

資料目次

● 火災

1	火災で焼失した学用品の内容と数	67
2	焼失した学用品購入のための現金寄付者	67
3	綾瀬小学校に寄付された品々	68
4	建築日誌にみる会議の内容	72
5	建築日誌にみる主な動き（会議以外）	75
6	綾瀬小学校の児童数と人口	77
7	高等小学校児童への授業料徴収規程	78
8	村長の進退伺	78
9	村長の進退伺に対する郡長の回答	78
10	建築委員	78
11	教育勅語謄本申請	78
12	小学校校舎建築議案	79
13	奉安所建築についての郡長の回答	79

● 震災

14	関東大震災についての高座郡町村会の決議	79
15	関東大震災による綾瀬小学校の被害	79
16	関東大震災による綾瀬村の被害	80
17	震災後の仮校舎についての県の指示	81
18	震災のころの綾瀬村	81
	① 養蚕組合の数	
	② 牛馬の数	
19	震災後の仮校舎の建築議案	82
20	青年団の活動内容	82
21	就職指導に関する郡長の指示	82
22	高等小学校充実についての県の指示	83
23	青年訓練所設置議案	83
24	同窓会による校門の寄付	83
25	村立図書館設置議案	83
26	綾瀬村図書館館則	83
27	震災借入金利子立替申請議案	84

28 大正期の主な教科書

●
図面等

29 火災後の机やイス等 85

30 綾瀬小学校 校地・校舎の変遷(明治35年～昭和11年) 89

31 体育運動の振興に関する事 90

32 小学校令・同施行規則に関する規程改定のこと 91

33 尋常小学校の校数・位置の指定・変更に関する内申のこと 99

34 公立小学校児童の遠足実施上の心得のこと 100

35 校舎の設備標準・学校体操設備標準に関する事 100

36 運動競技会への学生・生徒・児童の参加に関する事 103

37 修学旅行・遠足等に際し衛生上の注意に関する事 104

38 全国体育デーの実施に関する事 104

39 簡易図書館施設要項に関する事 104

40 高座郡綾瀬村立図書館の設置・開館認可のこと 108

41 学校での主なできごと 109

1 火災で焼失した学用品の内容と数

品名	焼失数	焼失代金	品名	焼失数	焼失代金
硯	六五七	一六四円二五銭	羽織	一五	三〇円〇〇銭
墨	五七四	五七円四〇銭	前掛	九	一円八〇銭
石盤	三三	四円九五銭	□タビ	七一	三円八〇銭
筆洗	三二七	一六円三五銭	体操帽	八三	一三円二八銭
菊皿	三二七	一六円三五銭	体操ハカマ	一二	六円〇〇銭
絵具	三五六	七一円二〇銭	ソロバン	二三	九円二〇銭
チョーク	二一九	一七円二〇銭	字引	二四	一六円八〇銭
六色々鉛筆	八	一円二〇銭	國史	二九	八円七〇銭
十色々鉛筆	一一	二円七五銭	算術五	六六	一一円二二銭
丸カキ	三六八	三六円八〇銭	読本八	三	六六銭
三角定規	四四六	六六円九〇銭	書方尋四下	九九	六円九三銭
体操ジュバン	一四	七円〇〇銭	尋修四	二九	五円三三銭
体操サルマタ	一七	四円二五銭	高地二	四一	八円二〇銭
筆入	三九五	五一円三五銭	高地一	四〇	八円〇〇銭
紙入	一四八	五一円八〇銭	高読二	三	七五銭
綴方帳	四六九	二二円四五銭	運針布	一五七	一〇円九〇銭
曲尺	四三一	三〇円一七銭	女修高一	二四	四円八〇銭
鯨尺	一五七	一〇円八九銭	高読女二	六	一円五〇銭
裁縫箱	一六五	六六円〇〇銭	高書女下	二五	一円七五銭
袷着物	五	一三円〇〇銭	女高修二	八	一円六〇銭
単衣四ツミ	三八	三八円〇〇銭	女高□二下	一九	一円三三銭
サラシ一反	一	一円〇〇銭	(「小学校々舎焼失全新築ニ関スル書類仮綴」)		

2 焼失した学用品購入のための現金寄付者

綾瀬小学校同窓会	青年会
小学校	蓼川支部青年会
藤澤小学校	吉岡支部青年会
澁谷小学校	早川支部青年会
海老名小学校	小園支部青年会
御所見小学校	上土棚支部青年会
大和小学校	寺尾支部青年会
茅ヶ崎小学校	深谷上支部青年会
寒川小学校	深谷落合支部青年会
有馬小学校	分教場
座間小学校	早園分教場児童有志
小出小学校	綾北分教場児童有志
明治小学校	上土棚分教場児童有志
座間村栗原小学校	吉岡分教場児童有志
大野小学校	補習生
鶴嶺小学校	上土棚実業補習生
大澤小学校	寺尾実業補習生男子部
上溝小学校	吉岡実業補習生男子部
松林小学校	落合実業補習生男子部
鵜沼小学校	綾北分教場実業補習生有志
田名小学校	町田小学校尋六・四生徒
六會小学校	寺尾産業組合
麻溝小学校	寺尾処女会
新磯小学校	個人(綾瀬小同窓会員等)
相原村立旭小学校	寄付金合計 一二一九円三三銭

(自 明治三十八年「寄附者台帳 現金之部」)

3 綾瀬小学校に寄付された品々

年月日	品目	数量	価格円(銭)	年月日	品目	数量	価格円(銭)	年月日	品目	数量	価格円(銭)
大正以前ノタヌ年月日ハ不詳	柱時計	一	七〇〇	大正十二年三月三日	額(重艦) 額縁ツキ	一		昭和二年十月十一日	鉄棒(早園分教場へ)	一	一〇〇
大正十一年二月十八日	柱大時計	一	二〇〇〇	大正十一年十一月十五日	国旗(メリンズ)	一対	一〇〇〇	十月十五日	寒暖計	一	三〇〇
二月五日	オルガン	一	四〇〇〇	大正十二年二月十日	花瓶大	一	二八〇〇	昭和三年五月二日	鯨魚(剥製)	一	七〇〇
三月九日	柱大時計	一	二五〇〇	"	旗竿	一		昭和元年二月十五日	シャンデリヤ	一	三〇〇〇
三月廿七日	バケツ	一	八〇	"	姿見	一	三〇〇	昭和二年一月二十日	校門	一	三五〇〇
四月三日	オルガン	一	四〇〇〇	四月十八日	鹿の角	一		九月五日	スパイク	六	三五〇〇
大正以前ノタヌ年月日ハ不詳	敷設水雷	一		七月十七日	時間割表(教室用)	一五		七月十一日	バスケットボール台	一対	五〇〇〇
大正十一年三月十七日	宝石模型(二十四種)	一組	一〇〇〇	七月十四日	額(如蓮) 額縁ツキ	一	三〇〇〇	四月十一日	児童文庫本箱	六	一〇〇〇
三月十八日	露西亜の秤	一		大正十三年四月二十三日	水筒	一		"	"	三	五〇〇
三月十九日	昆虫標本(五十四種)			大正十二年一月十日	電鈴・押釦・電線	一		"	"	三	五〇〇
"	植物腊葉(二十三種)			大正十三年五月十五日	マイカー(電気絶縁体)	七		昭和三年五月十七日	駝鳥ノ卵	一	
四月二十三日	植物腊葉(二十二枚)			五月十六日	二十八珊瑚砲弾破片	一		"	"	一	
四月廿五日	柱時計	一	五〇〇	"	水晶	一		九月十五日	貨幣ノ見本	一	
五月五日	小火鉢(木製)	七	十五〇〇	"	黄銅鉦	一		昭和四年五月十一日	電球及笠	一	
八月三十日	シンガーミシン	一	一二〇〇〇	"	黄鉄鉦	一		七月十三日	鵲剥製	一	三〇〇
十一月十四日	国旗	一対	五〇〇〇	"	銅精製残	三		十月二十日	雲母(ロシア産、インド産、朝鮮産)	三種	
十月二十一日	オルガン ストップ七個付	一	一五〇〇〇	六月十六日	花瓶	六	一六〇	昭和五年六月一日	軍艦三笠模型	一	一五〇〇
大正十二年一月十三日	砲彈寄附	一		"	水差	一	一〇〇	"	"	二	
"	飛魚鱗	三		"	ピンポン用具	一	四五〇	七月一日	地球儀	一	四〇〇
一月廿二日	卓子掛	大小一		七月二十日	蓋物	一		十月二日	各教室用児童文庫本箱	三六	
一月五日	鉄条網	一		"	水盤	一		十月十九日	黄銅鉦	二	
二月十一日	駝鳥ノ卵	一		大正十四年七月日	貝化石	三		十月二十一日	歩兵平射砲実砲	一	
"	椰子ノ実	一		九月五日	剥製トカゲ	一	五〇〇	昭和六年二月十日	日露戦争画及ビ額面	三	二五〇
二月廿六日	平家蟹	一箱		十一月三十日	額(自強不則)	一	二〇〇〇	五月十日	帝国軍艦長門 額面トモ	一	一二〇
三月三日	砲彈	一		九月十日	鈴大	一	一〇〇〇	三月三十日	花瓶	一	二〇〇
二月九日	額(綾瀬小学校) 額縁ツキ	一	二〇〇〇	十二月十日	花瓶	一		五月二十三日	旅順山口表忠外口計枚	三	一〇〇

	年月日	品目	数量	価格(円・銭)
	昭和五年四月十一日	松	一	-
	四月六日	桜苗 全	二〇	-
	昭和六年四月三日	糸檜葉	一	五〇〇
	"	多行松	二五	五〇〇
	三月十七日	樺 本校用	三〇	三〇〇
	五月二十三日	青桐 綾北分教場へ	一	一〇〇
	六月二日	ドイツトーヒ 本校用	一	一五〇
	"	多行松 本校用	一二	二五〇
	六月十七日	墓台樹 本校用	一	-
	年月日	図書名	数量	価格(円・銭)
"	大正十一年四月八日	一事貫行	一	一八〇
"	"	小学作法要項	一	一八
"	"	婦人の覚醒	一	一九〇
"	"	模範青年団	一	二〇〇
"	"	楠正成櫻井遺訓	一	二五
"	"	動的教育の實際研究	一	四三〇
"	"	理想の教具及校具	一	一五〇
"	"	統合教育教科書各科教授法	一	一五〇
"	"	話方教授	一	一三〇
"	"	小学校ニ於ケル公用文及び日用文ノ教授法精義	一	一三五
"	"	最近植物採集法	一	二五〇
"	"	新選唱歌集	一	三〇
"	"	適用遊戲	一	二五
"	"	塾舎中心体操教授ノ實際案下	一	一五〇
"	"	伴奏楽譜歌詞評釈 尋文唱一、二三四年、四冊	四	-
"	"	新訳漢和 大辞典	一	三五〇
"	五月二十九日	新教授法の原理及実際	一	二〇〇
"	"	学習訓練の新研究	一	二五〇
"	"	現今の教育	一	一六〇
"	"	分团式各科動的教授法	一	四五〇
"	"	補習教育の要義	一	三五
"	"	提要世界教育史	一	一九〇
"	"	世界の大事と大正教育の方針	一	一九〇
"	"	国語教授法精義	一	二三〇
"	"	青年團眞義	一	一〇〇
"	"	公民教育及補習教育論	一	九〇
	年月日	図書名	数量	価格(円・銭)
	大正十一年六月五日	中学校入学準備書	一	六〇
	"	女子学校程度作文入學準備書	一	五〇
	"	女子の文藝	一	四〇
	"	中学教科平面幾何	一	一七六
	"	中等教育平面三角法教科書	一	一三六
	六月十六日	改造サレタル世界地理教授資料	一	二二〇
	"	"補遺	一	一六〇
	"	尋常小學校國語読本 徹底的積義五ヶ前	一	一一三〇
	六月二十一日	コドモエデホン	一	三〇
	"	物理学詳解講義	一	二五〇
	"	新編讀書作文用字談	一	六五
	八月十四日	平和博覧会	一	一五〇
	大正十二年三月三日	芳賀自習漢和辞典	一	一〇〇
	"	日本国体の研究	二	五五〇
	三月二十日	寒川神社志	一	非売品
	五月十日	神奈川県社会事業要覽	一	非売品
	五月三十一日	修身教授の實際案	一	一五〇
	七月二十四日	果樹園經營法	一	三三〇
	"	報徳訓 楠正行ノ歌	二	-
	大正十三年七月十四日	児童研究紀要	一	三八〇
	"	精神検査問題集習書	一	一三〇
	"	精神検査法	一	二三〇
	"	創作への道	一	二三〇
	昭和三年四月二十日	日露戦争実記	七〇	七〇〇
	"	全戦争画報	四二	八四〇
	昭和五年一月八日	読本中心 国語の講習	一	三〇〇

年 月 日	図 書 名	数 量	価 格 円 (銭)	年 月 日	図 書 名	数 量	価 格 円 (銭)
昭和五年四月十日	修正算術ノ取扱 四年	一	一七〇	昭和七年八月二日	日本海海戦図	一	五〇
〃	図画教材画集	一	二八〇	昭和八年六月三十日	北海道地図	一	二八
昭和六年一月十五日	最新 物理学教科書上・下	二	一七八	〃	新教育の諸□	一	二八
〃	受験物理学の参考	一	一五〇				
〃	新制化学精□	一	一三〇				
〃	新制物理の講義	一	二五〇				
〃	新制化学の講義	一	二三〇				
〃	受験ハンフレット 新制物理の講義	一	三五				
〃	〃 新制化学の講義	一	三五				
〃	最新化学教科書上・下	二	一四七				
〃	新制物理学実験用書	一	五九				
〃	新制化学実験用書	一	六八				
〃	化学カード式参考書上・下	二	四〇				
昭和六年四月十二日	家事学習書上・下	二	六〇				
〃	統一新商業教科書	二	五六				
十一月十五日	明治大正文学全集	一五					
〃	其他 私を感激せしめた人々	二					
十一月二十日	日蓮聖人御遺文	一					
昭和七年四月十五日	増補 寒川神社志	一	非売品				
四月二十五日	新訂 尋常小学唱歌	一五	一九五				
五月十日	世界地理風俗大系	二四					
〃	日本風俗大成	一〇					
〃	日本地理風俗大系	一八					
六月十五日	満州事変の生んだ美談佳話	一					
〃	上海事変	一					
〃	上海事変絵葉書	一組					

(大正十一年二月「寄付台帳」(綾瀬小学校蔵)より作成)

村会・委員会等	日 時	内 容
村議会	大正 11・2・12 (日) 3・27 (月) 4・19 (水) 9 時 6・20 (火)	協議事項 基本財産、学校備品新調、校舎再築敷地基礎、割当寄付募集、郡役所より県庁への出頭者五名依頼の各件について 議案 小学校焼失による大正 10 年度歳入出追加予算 小学校建築費、寄付受領 村税賦課方法及徴収期限規程改正 収入役を定める 学務委員補欠選挙 村税賦課率 の件 内容 小学校建築の件で建築委員を選挙 (30 名) 議事案件 小学校建築 農工債権売却 基本財産処分 基本財産蓄積停止 村公債起債及償還方法 大正 11 年度歳入出追加更正予算 村税その他の現金保管 村有土地公用開始 村有土地小学校に編入 ★小学校建築については、第一校舎・第二校舎・便所・渡廊下の計 543 坪 7 合 5 勺が可決された。
村会・委員会等	日 時	内 容
村会議員・学務委員会合同	大正 11・2・3 (金)	協議会開催 内容：仮教場
建築委員会	大正 12・2・10 (土)	全員集合し、落成式の手配
学務委員会	大正 11・2・21 (火) 2・25 (土) 3・15 (水) 3・25 (土)	机・本箱・その他設計につき協議 器具入札の立会い 村長及び学務委員、学校にて「焼垂鉛板の競売」行う 学用品購入の件で協議
	大正 12・1・9 (火) 1・24 (水) 2・5 (月)	議内容 建築の件につき 議内容 学校の件につき 議内容 村長辞表提出により後任を定む 協議事項 建築会計について ① 仮校舎の記 ② 監督費 ③ 記念品 ④ 落成式 ⑤ 購入品
	7・11 (火)	議内容 戸数割賦課決定 綾瀬小学校位置編入答申 (綾瀬村深谷中郷三三八九―一 87 坪 5 合・郡長諮問)

村会・委員会等	日 時	内 容	村会・委員会等	日 時	内 容
学務委員・ 学校職員合同	大正 11・2・14 (火)	協議会開催 協議事項：見舞金処分方法 焼失品に対する購入及び配布方法			
村会議員・ 常設委員・ 学務委員合同	2・5 (日) 2・12 (日) 2・25 (土)	協議事項：善後策について 協議会開催 協議会開催 協議事項：焼垂鉛板の払下、焼木、取片付人夫、資金、在郷軍人会よりの借入、一万円寄付募集、生活改善の各件について	村議会・ 建築委員合同	7・17 (月)	五、その他村会議員、学務委員、建築委員、常設委員は毎日2名宛交替 出勤監督のこと 六、コンクリート硬化用使用蒔を深谷中村及び上部より一戸1枚宛寄付を請う 七、勅語及詔書読本(本日30日下付) 当日奉読式挙行すること
村会議員・ 常設委員・ 学務委員・ 建築委員合同	4・19 (水) 大正 11・5・14 (日) 8・20 (日)	協議会開催 協議事項：小学校の件につき 協議会開催 出席者：村長、助役、26名 議題：小学校建築の件につき 協議会開催 出席者：村長、助役、校長、18名 協議事項：一、建築に関する経過報告(村長より) 二、木材・机・器具の検査立会人の選定 常務委員の外6名を選任(深谷上、蓼川、本蓼川、小園、深谷大上、落合、吉岡の各1名) 三、建築工事常務監督2名を選挙 四、常務委員6名は毎日1人交替にて出勤すること		大正 12・1・25 (木)	同時開催 出席：20人 議案：綾瀬小学校校舎建築工事請負 ・入札立会人を定める(9名) 合同開催 出席：21名・校長 協議事項：落成式に關して ① 落成式は2月11日、午前10時挙式 ② 招待者：綾瀬村3名、郡3名、郡内町村長20名、郡内小学校長22名、郡会会長1名、副会長1名、職人大工4名、矢部、コンクリート2名、屋根屋2名、壁3名、石1名、材木屋3名、櫻井、萩原、今福の計67名。この弁当(金百円) ③ 村内一戸に付き酒1本(2合瓶)、パン1袋の千人前(金五百円) ④ 村名誉職(村会議員、学務委員、建築委員55) ⑤ 本郷中部小学校(海老名・渋谷・大和・有馬・

	村会・委員会等
	日 時
① 六会・御所見、六校生徒凡4千5百人へ一人に付2銭5厘位いの雑記帳1冊宛配ること。計・金112円50銭 ② 其の他の本郡小学校16校へは見舞金の凡二割に相当する校具を送ること 計・金100円 ③ 本村小学校生徒へ一人凡10銭位の雑記帳を配布すること。計・金100円 ④ 橘樹郡第一町田小学校へ凡1円80銭位の物を送ること ⑤ 当日打上煙火の代金祝儀共金30円 ⑥ 職工(大工2、矢部1、コンクリート2、屋根屋2、左官3、石屋1、材木屋3)計17人へ落成の祝儀一人3円宛送ること。計51円 ⑦ 招待せざる寄付者へは礼状を出すこと。(村外を含む) ⑧ 村内の篤志寄付者へは礼状を出すこと。 ⑨ 高齢者を招待すること ⑩ 来賓接待員として役場2名、学校2名、多田、笠間、田中氏と定む ⑪ 式の前日には準備のため各部落より建築委員1名宛早朝より出頭すること ⑫ 総計落成式費用見積金1,082円30銭 ⑬ 酒1樽、代金凡40円。酒は綱島、小林にて相談して引受のこと ⑭ パンの注文は見上収入役に依頼すること	内 容
(大正十一年二月三日起「尋常高等綾瀬小学校建築日誌」より作成)	村会・委員会等
	日 時
	内 容

5 建築日誌にみる主な動き（会議以外）

年月日	内 容
大正11・2・3	深谷中・上・吉岡芝原・落合・吉岡等の消防隊出動
2・4	小学校臨時休業
2・6	各部隊10名の消防隊来校し、焼跡の整理
2・7	御真影焼失の御灰に対する式場作製
2・10	全校児童登校して右の式挙行 午後1時30分閉式
3・9	御所見小学校宇留志訓導、教科書寄贈目録を持参
4・11	校地の測量（比留川村長、多田）
4・12	大時計学校に到着（高島氏寄贈）
4・16	小学校再築地鎮祭執行
4・17	参列者：村会議員・学務委員・常設委員・小学校職員 校地（高嶋慶助氏所有地を譲り受け）測量 立会い：比留川村長・小柳助役・綱島・峯尾 村技手（和田氏）校地測量に来る 県技手（大谷氏）測量に来る 村長・助役・比留川書記・近藤村会議員・学務委員（綱島・鈴木・笠間）共に測量する 助手：大工（北村・高橋） 校舎設計書を県庁に受取り（村長） 村債の件につき東京勧業銀行へ（村長） 小学校建築の件で渋谷小学校へ（村長） 小学校建築の件で田名小学校へ（村長） 本箱4個 事務室用机2脚 児童用机1脚 黑板8面 黑板9面受付（佐藤建具屋より） を小学校に搬入（佐藤建具屋（寒川村小谷戸より）

年月日	内 容
8・12	教壇9個搬入（佐藤建具屋より）
8・17	電燈柱本杉丸太式17本小学校へ運搬（長後電器局より）
8・30	奉読式挙行（深谷神社境内） 立会人：村会議員・学務委員・常設委員・役場吏員・在郷 軍人分会長・青年支部長・建築委員等30余名 机新調されて休暇後初めて使用する 9月1日から 高一女、高一男 使用 9月2日から 尋五女、尋四男、尋六男、尋二男女 使用 9月4日から 一脚三人宛で、尋五男、尋三男女 使用 9月7日から 尋一男女（一脚三人宛） 使用 ※9月8日迄には尋六・四女生、まだ机なし 本日新調器具 ・机 一〇脚 机 一〇脚 ・腰掛 一〇脚 腰掛 一〇脚 尋三男に不足分の机搬入 腰掛41脚受入れ 机10脚、腰掛10脚受入れ 机8脚、腰掛10脚受入れ 東京機械標本株式会社が理科学機械の注文採りに来校 （高価なり、村債起す程の綾瀬村では求め得られず） 本日までの亜鉛板136枚、学校に搬入 島津製作所東京支店員が博物器具の注文取りに来る 戸塚より建具用金物を学校に運搬（鈴木雇人夫） 寄付によるオルガン搬入 東京器械販売人（大貫某）小学校に来る 平塚より肥箱30個運ぶ（雇人夫 川口・比留川）

年月日	内 容
大正12・1・6	理科学器械 大箱4箱到着 東京器械商(大貫店主)電気その他数点を納入 机・腰掛・その他を新築校舎に運搬 (尋四以上の児童を召集して実施)
1・30	椅子30脚到着(川添商店より)
2・2	本校焼失一周年で男教員は徹夜警戒を行う 青年会各支部2名登校し、緑門作製
2・9	深谷中部青年全部による校庭の雪除け作業
2・11	落成式 午前10時挙行(紀元節の式後) ※焼失して一年と九日 ◎落成式次第 一 一同着席 一 校旗入場 一 一同敬礼 一 村長挙式ノ旨ヲ述フ 一 唱歌 君が代 勅語奉読 一 村長工事経過報告並ニ式辞 一 郡長代理ノ告諭 一 来賓祝辞 一 校長ノ答辞 一 唱歌(落成式ノ歌) 一 村長閉式ヲ告ク 一 一同敬礼 一 校旗退場 一 一同退場 式終了後、祝杯を挙げる 来賓は霧島視学(訓示あり) 祝辞 ①海老名村長(中部村長を代理して) ②大和小学校長(中部小学校長を代理して)

年月日	内 容
3・5	小学校児童の記念品：男生徒には、帽子の徽章と雑記帳2冊 女生徒には、メタル1個と雑記帳2冊
2・28	村内一般へは：パン1袋と清酒2合瓶1本(各字の常設委員が配布)
2・27	村会議員・建築委員・常設委員・学務委員・役場吏員・ 小学校職員・高齢者には：弁当1箇づつ
2・26	余興として、銃槍(在郷軍人分会、撃剣(青年会) 煙火の打上げ 30本 ☆当日接待の高齢者 落合 1人 中部・上部 15人 本蓼川 4人 蓼川 6人 寺尾 6人 小園 3人 早川 10人 上土棚 〇人 青年会支部長：パン1袋贈呈 寄附した小学校には、運動用具一式贈呈 各村寄付には、礼状と村長を招待 ※午後5時頃解散 《小学校に於いて、児童成績品展覧会催す》 雑記帳(落成祝品)を渋谷小学校・大和小学校に送る 雑記帳(落成祝品)を座間小学校・海老名小学校に送る 郡内各小学校へ寄贈品を送る(小包郵便にて) 落成式祝品を有馬小学校・御所見小学校へ送る (午後) 奉安所・使丁室の位置及び材木整理の件で集会 出席者：小柳助役・多田・綱島・笠間・守山・ 武藤・鈴木・峰尾・小山田の9名

(大正十一年二月三日起「尋常高等綾瀬小学校建築日誌」より作成)

6 綾瀬小学校の児童数と人口

科次														男	女	計	學級	高等科				男	女	計	學級	教員數	人口																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
7年 (一九三二)	6年 (一九三一)	5年 (一九三〇)	4年 (一九二九)	3年 (一九二八)	2年 (一九二七)	昭和元年 (一九二六)	14年 (一九二五)	13年 (一九二四)	12年 (一九二三)	11年 (一九二二)	10年 (一九二一)	大正9年 (一九二〇)	男女計					世帯數																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
504	472	480	495	465	472	460	474	448	428	427			男	438	414	417	419	418	442	421	451	444	432	429			女	942	886	897	914	883	914	881	925	892	860	856	851	870	計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
18	18	18	18	18	18	16	16	16	16	15	15	15	學級	115	109	99	113	121	117	103	76	93	104	102			男	72	64	66	64	65	69	74	69	56	50	48			女	187	173	165	177	186	186	177	145	149	154	150	147	134	計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	學級	619	581	579	608	586	589	563	550	541	532	529			男	510	478	483	483	483	511	495	520	500	482	477			女	1,129	1,059	1,062	1,091	1,069	1,100	1,058	1,070	1,041	1,014	1,006	998	1,004	計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
22	22	22	22	22	22	19	19	19	19	18	18	18	學級	25	24	26	26	26	25	22	20	21	19	20	20	19	男女計	22	22	22	22	22	19	19	19	19	18	18	18	18	學級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		5,665					6,028			5,828		5,759	男女計	25	24	26	26	26	25	22	20	21	19	20	20	19	教員數			5,665																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

(綾瀬市教育史年表編・資料編1)「綾瀬小学校沿革誌」より作成

7 高等小学校児童への授業料徴収規程

小学校授業料徴収規程

第一条 本村立尋常高等綾瀬小学校高等小学ノ児童ニ対シテハ、月額金貳拾銭ノ授業料ヲ其保護者ヨリ徴収ス

第二条 授業料ハ其出席セル月分ニ対シ之レヲ徴収ス

但、暑中休業ニ該ル月ハ之ヲ徴収セズ

第三条 授業料ヲ徴収スベキ児童同一戸籍内ニ式人以上アル場合ニハ、年長ノ老人ハ全額、他ハ半額ヲ徴収ス

第四条 授業料ノ徴収ハ毎月十五日ト定メ、休日ニ該ルトキハ繰上グルモノトス

第五条 左記該当者ニ対シテハ授業料ノ徴収ヲ免除ス

- 一、戦死軍人ノ遺子
- 二、一ヶ月三日以内ノ出席者ハ其月分

附 則

第六条 本規定ハ大正八年十月一日ヨリ之レヲ施行ス

(追 筆)
大正八年九月貳拾貳日議決

(自 大正八年
至 全 九年 「庶務書類」)

8 村長の進退伺

綾発第三一号

進 退 伺 書

高座郡綾瀬村長 守山甲子太郎

本村小学校々舎大正十一年二月三日朝火災ヲ起シ一棟全部焼失致シ殊ニ

両陛下ノ御真影ヲ御遷シ参ラスル事ヲ得ザリシハ管理者タル小職トシテ何トモ恐懼ノ至リニ付不董督ノ責ヲ負ヒ隠退致シ度此段上伺候也

大正十一年二月四日 右

神奈川県知事 井上孝哉 殿

守山甲子太郎

(自 大正十一年
至 全 十三年 「庶務書類」)

9 村長の進退伺に対する郡長の回答

高教威秘第二一号

大正十一年二月一〇日

神奈川県高座郡長

綾瀬村長 守山甲子太郎 殿

進 退 伺 ノ 件

去三日 御真影焼失ノ件ニ関シ進退伺御提出相成候モ其ノ儀ニ不及候条 伺書及返戻候ニ就テハ将来一層其職ニ尽瘁セラルベク□

(自 大正十一年
至 全 十三年 「庶務書類」)

10 建築委員

落合	二名	上土棚	三名
深中村	三名	蓼川	三名
深上	二名	寺尾	三名
深大上	二名	小園	二名
本蓼川	二名	早川	四名
吉岡	四名		

(大正十一年二月三日以降「小学校々舎焼失
全新築ニ関スル書類仮綴」より作成)

11 教育勅語謄本申請

発第一三四号

勅語謄本下付申請

高座郡綾瀬村立尋常高等綾瀬小学校
右尋常高等綾瀬小学校々舎本年貳月参日火災ニ罹リ候其際猛火ノ為メ持出ス事相叶ハズ遺憾ナカラ勅語謄本及戊申詔書共ニ焼失仕リ候ニ付今更恐懼至極ニ御座候得共特別ノ御□予ヲ以テ御下付相成度此段申請候也

大正十一年四月二十九日 綾瀬小学校管理者

綾瀬村長 比留川定吉

神奈川県知事 井上孝哉 殿

(大正十一年二月三日以降「小学校々舎
焼失全新築ニ関スル書類仮綴」)

12 小学校校舍建築議案

議案第六号

小学校々舎建築ノ件

本村立尋常高等綾瀬小学校本校々舎ハ本年式月参日火災ニ罹リ小使室及明治四拾四年度中ニ増築シタル校舍老棟（建坪八十四坪式合五勾
裁縫室唱歌室教員住宅室）ヲ除クノ外全部焼失ニ付キ大正拾壹年度ニ於テ左ノ通り建築スルモノトス

- 一、第一校舎 貳百参拾参坪七合五勾
教室職員室其他
- 一、第二校舎 貳百貳拾坪
教室廊下共

- 一、便所 貳拾貳坪
- 一、渡廊下 参拾六坪

計 五百四拾貳坪七合五勾

大正拾壹年六月二十日提出

綾瀬村長 比留川定吉

（追筆）
全日原案可決

（大正十一年「村会會議録及議決書」）

13 奉安所建築についての郡長の回答

高地第一〇五一号

大正十二年六月十八日

高座郡長

各町村長 殿

御真影奉安所建築議決ニ関スル件

御真影奉安所建築ニ付テハ事件議決ヲ為スノ要無之单ニ当該予算ニテ議決セバ足ル義ニ付御了知相成度候

二町村税

（自大正十一年
至全十三年「庶務書類」）

大正十二年度後半期及大正十三年度前半期

三 小学校其他

公共団体ノ経営ニ属スル施設ノ復旧費ハ国

庫ヨリ交付セラレタキコト

四 県ノ救助方針ハ罹災郡部ヲ閉却セラレタル感

アリ宣シク考慮セラレンコトヲ望ム

大正十二年十月五日罹災高座郡町村長會議決要項
一 県税
大正十二年度後半期及大正十三年度前半期
全部免除セラレタキコト

（大正十二年「震災書類」）

15 関東大震災による綾瀬小学校の被害

（報告先：高座郡長（大正12・12・8付））

	倒潰数	焼失数	坪数	見積価格
一 校舎	三棟	一	新校舎 五二〇・七五坪 裁 八七・二五坪	五四、七五〇円
二 附属舎	一	一	一	一
三 器具	三一五箇	一	一	一、二三八円三〇銭
四 機械	三二箇	一	一	一九五円六六銭
五 書籍	一六冊	一	一	七二円
六 其他備品	一〇二箇	一	一	三〇円五〇銭
◇ 児童ニ関スル事項				
一 死亡者	一人	一人	一死亡者	一
二 負傷者	一	一	二負傷者	二人
三 再就学不可能者	一	一	三再就職不可能者	一
四 単ニ焼ケ出サレ者	一九人	一九人	四家屋倒壊者	四人
五 救助ヲ要スル者	一	一	五家屋焼失者	一人

（大正十二年「震災書類」より作成）

16 関東大震災による綾瀬村の被害

被 害 大 ナ ル モ ノ														
項 目														
一 死傷人員			二 全潰・破損家屋戸数										三 焼失・半焼家屋戸数	
16名			早川		小園		寺尾		深谷		居宅		綾瀬村寺尾、小園、早川、吉岡、本蓼川	
深谷	寺尾		全潰	半潰	全潰	半潰	全潰	全潰	半潰	全潰	全潰	半潰	ナシ	
8	1		32	94	6	50	49	55	66	163				
小園	早川		36	159	6	88	53	75	129	289	其他			
0	2		上土棚		本蓼川		吉岡		蓼川					
蓼川	吉岡		半潰	全潰	半潰	全潰	半潰	全潰	半潰	全潰	居宅			
1	2		39	36	9	11	48	54	12	2				
本蓼川	上土棚		91	90	15	16	63	168	36	15	其他			
2	0													
内 容														
延長：大三里、小五里														
用悪水路ノ崩壊 延長五里														
小学校ノ倒壊														
損害見積 六万円														
個人経営ノ養魚場 畝歩池 一〇五畝歩														
鰻及鯉 約 五千円														
個人経営ノ酒造店 二ヶ所 被害二万三千円														
六 其他注意スベキ著シキ損害														
山崩□崖崩ノ有無														
五 道路堤防の亀裂・土砂の噴出														
四 石垣土塀板塀ノ倒壊 堤防橋梁破損箇所														
三 焼失・半焼家屋戸数														
二 全潰・破損家屋戸数														
一 死傷人員														

備 考		被 害 小 ナ ル モ ノ							項 目	内 容
		一 家屋土蔵煙突等破損 ノ有無	二 屋根瓦墜落ノ有無	三 神社鳥居石籠ノ倒壊 破損ノ有無	四 寺院墓地石塔ノ倒レ タルモノノ有無	五 地下水変動ニヨル井 水其他ノ異常有無	六 振子時計停止ノ有無	七 其他注意スベキ著シ キ地震ノ影響		
落セリ 番 巾三間、長サ二〇間 土地一丈余陥		約 二〇〇戸	約 五〇戸	鳥居 四 石燈 三〇個	村内ニ建立シアル石塔全部倒壊 約一万本	井水ノ湧出止ミ枯レシ所処々ニアリ	七部 時計ハ柱ヨリ振落サレ破損ス 三部 振子停止ス	家具倒壊セシタメ□□跡片付等ノタメ 農業耕作近□モ不加ノミナラズ本年度 大小変ノ売却方途ナシ 田畑等荒地ニナリシ箇所アリ	綾瀬村本蓼川字稻荷山畑四〇四、四〇五	

17 震災後の仮校舎についての県の指示

大正十三年一月十八日於町村長会議

郡長訓示

校地校舎ニ関スル件

焼失倒潰シタル学校ニ於テ応急的校舎ヲ校地外ニ建築セントスル時ハ認可ヲ受クルヲ要ス而シテ応急的校舎ト雖モ相当期間使用スルコトナルヘキヲ以テ其位置方向照明等宜シキヲ得ザルベカラズ昨年九月十日公布ノ文部省令ヲ以テ児童生徒ニ関スル制限ニ拘ラス必要ナル措置ヲナスコトヲ得ルコトナリタルモ徒ニ教室ヲ広クシ合級教授ヲ為スガ如キハ決シテ省令ノ精神ニアラザルナリ又永久的校舎ヲ建築セムトスルトキハ当然認可ヲ受ケザルベカラズ而シテ此際薬品保管消火等ノ設備改善ニ就テハ遺漏ナク尚実業補習学校ヲ併設スル小学校ニアリテハ専用教室其他必要ナル設備ニツキ考慮セラレタシ

(自大正十一年
至全十三年「庶務書類」)

18 震災のころの綾瀬村

(大正十二年十二月末日現在)

①養蚕組合の数

町村名	組合数	組合戸数	総養蚕戸数	同上戸数ニ対スル組合戸数割合
町村名	組合数	組合戸数	総養蚕戸数	同上戸数ニ対スル組合戸数割合
藤澤町	二組合	二九戸	三三三戸	八・二二%
茅ヶ崎町	一四	三四〇	六五〇	二五・三一
寒川村	一〇	二二一	六七九	三一・〇八
小出村	四	一〇〇	四七〇	二一・二八
御所見村	七	一四〇	四五三	三〇・九一
有馬村	九	二四〇	四九〇	四八・九八
海老名村	四	八〇	五五七	一四・三六
座間村	一〇	二〇〇	六五〇	三〇・七七
新磯村	五	五三	三五五	一四・九三
麻溝村	四	七〇	四一〇	一七・〇七
溝村	三	四〇	三六六	一〇・九三
田名村	五	五一	四五八	一一・一四
大澤村	六	八五	四三八	一九・四一
相原村	二	二一	四五六	四・六一
大野村	二	四四	五九〇	七・四六
大和村	五	七七	五〇五	一五・二五
綾瀬村	五	一四〇	七一九	一九・四七
澁谷村	五	九〇	四四九	二〇・〇四
六会村	九	一五〇	四三四	三四・五六
計	一一一	二二六一	九四八二	二二・七九

(自大正十一年
至全十三年「庶務書類」)

②牛馬の数

種目	馬		牛	
	戸数	頭数	戸数	頭数
町村名	戸数	頭数	戸数	頭数
藤澤町	一二五	④一四三	二四〇	三四一
茅ヶ崎町	二八	三四	六八	六八
寒川町	五	六	二二	三二
小出村	三五	四三	三九	四五
御所見村	三三	三六	二一	二五
有馬村	四	四	三七	三七
海老名村	一六	一八	一六	三一
座間村	二七	①二七	一五〇	一六二
新磯村	四三	④三七	七二	七七
麻溝村	一九	②一九	六一	六六
田名村	九	①九	三六	四〇
溝村	二五	七	四九	五八
大沢村	一二	一二	六七	七二
相原村	一三	四三	六二	九二
大野村	一四	一五	一二五	二三八
大和村	二六	二七	一八六	二三八
綾瀬村	三〇	二八	六二	一〇六
澁谷村	二七	①二七	四八	五二
六会村	二二	①二二	九四	一〇三
計	五二三	五五七	一四五五	一八八三

(自大正十一年
至全十三年「庶務書類」)

19 震災後の仮校舎の建築議案

議案

第三号 小学校々舎建築ノ件

本村綾瀬尋常高等小学校々舎大正十二年九月一日ノ震災ニヨリ全潰シタルヲ以テ大正十二年度ニ於テ左記ノ通応急建築ヲ為スモノトス

大正十三年二月二十五日 提出

綾瀬村長 小柳勝一

記

一、木造亜鉛葺平屋建 壹棟 教室及職員室

此建坪 貳百参拾参坪七合五勺

一、木造亜鉛葺平屋建 壹棟 教室

此建坪 貳百貳拾坪

(通)

原案可決

(大正十二年
至大正十三年「村会々議録及議決書」)

20 青年団の活動内容

青年団ノ状況 控へ (大正十三年四月末報告)

青年団ノ名称 綾瀬村青年会

団長ノ種別及氏名 (公吏トスベキカ
村長トスベキカ適宜願上口) 小柳勝一

目的及事業ノ主ナルモノ

目的 健全ナル国民善良ナル公民養成ヲ目的トス

主ナル事業

精神方面

1. 実業補習学校生徒ノ勉学督励ニ関スル件
2. 図書館並ニ巡回文庫ノ設置
3. 敬神念祖ノ精神涵養ニ関スル件

事業方面

1. 桑並ニ蔬菜ノ試作
2. 公徳函、下駄ハタキ杭ノ設置並ニ其ノ整理

其他

1. 基本金蓄積ニ関スル件
2. 体育奨励ニ関スル件

団員数 二九八

成績 甲

其他 |

参考事項

年中行事ノ一トシテ

年一回名士ヲ聘シテ講演ヲ聴キ

又見学旅行ヲナス

基本金蓄積ニ於テ五万円蓄積規程ヲ設ケ之

レヲ実行シツ、アリ

(自大正十三年
至全十四年「庶務書類」)

21 就職指導に関する郡長の指示

高座第一九六一号

大正十四年七月二十五日

高座郡長

各町村長殿

少年職業紹介ニ関スル件依命通牒

少年ノ職業紹介ニ関シテハ其ノ性質及能力ノ最も適スベキ職業ニ就カシムルコトハ職業紹介上極メテ緊要ノ事ニ有之且将来失業ノ機会ヲ少カラシムル上ニ於テモ其ノ効果少カラサルコト、認メラレ候ニ就テハ小学校卒業後直チニ求職セムトスル者ニ対シテハ各自ノ性質及能力ニ付最モ精通スル小学校ト職業ノ状況ニ通スル職業紹介所ト相互連絡ヲ提携協力シ以テ適當ナル職業ヲ選択指導セシムル様致シ度大体左記ノ如ク施設ヲ講スル等相当御配慮相成度此段及通牒候也

記

別紙ノ通り

一、少年ノ職業選択指導ノタメ小学校教員職業紹介所職員医師其ノ他ノ密接ナル連絡ヲ図リ必要ナル場合ニハ之等ノ者ヨリ組織スル委員会ヲ設置スルコト

二、小学校卒業後職業ニ従事セントスル者ニ対シ必要アルトキ卒業前本人ノ学業性格性質其ノ他

参考トナルベキ事項ヲ職業紹介所ニ通報スルコト

三、職業紹介所ハ各職業別ニ依ル労務需給ノ状況及求人口ヲ小学校ニ通報スルコト

四、求職少年ノ父兄会等ヲ開催シ本人ノ性質能力ヲ適スル職業ノ選択ニ付指導誘掖スルコト

五、職業選択ニ付指導シタル結果其ノ職業ニ就職シタル者ニ関シ職業紹介所ハ時ニ其ノ就職後ノ状況ヲ調査シ之ヲ関係小学校ニ通報スルコト

(抜粋にて掲載)

(自大正十三年
至全十四年「庶務書類」)

22 高等小学校充実にについての県の指示

大正十五年五月廿八日於町村長会

指示事項

高等小学校施設改善ニ関スル件

高等小学校ノ施設ヲシテ地方ノ実情ニ応シ一層実
際生活ニ適切ナラシメムカ為制度ノ改正ヲ行ハレ
タリ即チ必修セシムルコトニ殊ニ実業ニ就テハ
土地ノ情況ニ依リ適當ナル教材ヲ選フノ余地ヲ存
シテ画一ノ弊ニ陥ラサルコトヲ期シ尚修身ト国史
トニ重キヲ置キ生徒ノ徳操ヲ涵養シ国民精神ノ強
固ナラシムルト同時ニ公民的陶冶ニモ十分意ヲ用
キ普通選挙ノ実施等時代ノ進運ニ処シテ遺憾ナカ
ラシメムトセリ殊ニ教員配置ニツキテモ従来ノ学
級担任制ニ教科担任制ヲ加味シ教員ノ人格的感化
ト教科目教授ノ徹底トヲ眼目トシ其ノ効果ヲシテ
全カラシメムコトヲ期セリ之ニ依リ一面ニ於テハ
現特ノ通弊タル中等学校入学難ノ緩和ト他面ニ於
テハ義務教育年限延長ノ実施ヲ促進スルヲ得ヘシ
而シテ本部ニ於ケル高等小学校ハ比較的普及セリ
ト雖モ女子入学者ノ数ニ至リテハ尚遺憾ノ点ナシ
トセス各位ハ宜シク此ノ改善趣旨ヲ体シ一層之カ
發達ヲ図ラシムコトヲ望ム

(抜粋にて掲載)
(自 大正十四年
至 昭和四年 「庶務書類」)

23 青年訓練所設置議案

議 案

第二十八号 青年訓練所設置ノ件

青年訓練所令ニ基キ本村ニ青年訓練所ヲ設立シ

本村小学校ニ併置スルモノトス

大正十五年六月二十一日提出

高座郡綾瀬村長 見上一長

(追 筆)
全日原案可決

(自 大正十四年
至 全十五年 「村会々議録及議決書」)

24 同窓会による校門の寄付

議 案

第四二号 校門寄付受領ノ件

左記団体ヨリ本村小学校(本校)校門トシテ別

紙設計書ノ通建設寄付申込ニ付之レヲ受領スル

モノトス

昭和二年二月三日提出

綾瀬村長 見上一長

左 記

寄付者 綾瀬小学校同窓会

(追 筆)
全日原案可決

(自 昭和二年
至 全四年 「村会書類」)

25 村立図書館設置議案

議 案

第一一号 村立図書館設置ノ件

本村立図書館ヲ尋常高等綾瀬小学校校内ニ設置シ

一般ノ閲覧ニ供スルモノトス

昭和六年三月二十三日提出

高座郡綾瀬村長 峯尾文太郎

(追 筆)
全日原案可決

(自 昭和五年
至 昭和七年 「村会々議録及議決書」)

26 綾瀬村図書館館則

綾瀬村図書館々則

第一条 本館ハ綾瀬村図書館ト称ス

第二条 本館ハ学識ヲ拡充シ且苦学力行者ヲ助長

セシムルヲ目的トス

第三条 本館ハ神奈川県高座郡綾瀬尋常高等小学

校内ニ設置ス

第四条 本館ノ經費ハ村費及篤志者ノ寄附金及補

助金ヲ以テ之ニ充ツ

第五条 本館ハ閲覧料ヲ徴収セサルモノトス

第六条 本館ニ左ノ職員ヲ置ク

一 館長 一名 本村小学校長ヲ以テ之ニ充ツ

二 司書 若干名

三 書記 二名

第七条 館長ハ館務ヲ総理ス

司書ハ図書ノ整理保存及閲覧等ニ関スル事務ヲ掌ル
書記ハ庶務ニ従事ス

第八条 本館ハ図書ノ種類及其内容ニ依リ小学部、
一般部ノ二部二分ツ

第九条 本館開館ハ午前八時ヨリ午後五時迄トス
但時宜ニ依リ伸縮スルコトアルヘシ

第十条 本館図書閲覧者ハ別ニ定ムル所ノ閲覧規
程ニ拠ルヘキモノトス

第十一条 閲覧図書ヲ毀損汚染シタル者ハ相当代
価ヲ弁償セシムル事アルヘシ

第十二条 本則施行ニ必要ナル細則ハ館長之ヲ定ム
付則

本則ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
(自昭和五年
至昭和七年「村会書類」)

27 震災借入金利子立替申請議案

議案 第一四号

震災借入金利子立替方申請ノ件

予テ大蔵省予金部資金ノ県転貸ヲ受ケタル震災応
急資金参万五千円及四千円ニ対スル昭和六年度分
利子金千八百七拾貳円ハ昭和六年度ニ於テ償還ス
可キ旨請求ヲ受ケタル処本村財政ノ窮迫セル現状
ニ在リテハ償還困難ナルニ付全額ヲ県ニ立替ヲ請
ヒ左記方法ニ依リ償還スルコトヲ県ニ申請スルモ
ノトス

昭和七年七月十一日提出

綾瀬村長 峯尾文太郎

記

一金千八百七拾貳円也 総立替金

内

一金千八百七拾貳円也 昭和八年三月償還

(追筆)

全日原案可決

理由書

本村ハ大正十一年二月小学校全焼シ村債ヲ以テ大
正十二年二月建築落成セルニ大正十二年九月大震
災ニテ全部倒潰シ依テ前敷地ノ不備ナル關係上更
ニ村債ヲ以テ敷地買収シ位置ノ変更ヲ為シ茲ニ新
建築ヲ為シタリ當時ノ景氣ハ今日ノ不況アルヲ顧
慮ノ余地ナク今日此ノ不況ニ直面スル時村債ノ内
預金部借入金三万九千円償還ノ前途ヲ案スルニ実
ニ憂慮ニ堪ヘサルモノアリ最初建築ノ當時ニ於テ
村基本財産各種積立金中一万二千五百一十一円ヲ消
尽シ昭和六年ニ於テ預金部借入金昭和四、五ノ兩
年度利子支払ノ為メ前記各種積立金中貳千八百六
拾九円ヲ消尽シ合計一万五千三百八十円ヲ転用シ
村各種財産皆無ニ歸セリ加之打続ノ不況ハ一曾深
刻ニ殊更シ農村ノ不況ハ言語ノ絶スル状態ナリ繭
一貫匁十二、三円ヲ以テナリシモ逐年低落シ本年
春蚕ノ如キハ二円内外ニシテ村内一流ノ養蚕家ト
シテ百貫ノ收穫ヲ得ルヲ最高トスルモ二百円程度
ノ收入ナリ之ヨリ雜費ヲ控除スル時ハ小学校長ノ
一ヶ月ノ俸給ニスラ滿ザルモノアルニ至ル一ヶ
月間約十人位ノ人手ニテ不眠不休ノ活動ノ結口ガ
僅力百二、三十円位ニテ之即チ農村ノ唯一ノ收入

28 大正期の主な教科書

教科	教科書名	発行
修身	尋常小学修身書 卷1～6	
国語	尋常小学読本 卷1～12 尋常小学書キ方手本 第1学年用～第6学年用	大正7年
算術	尋常小学算術書 第1学年用～第6学年用 第1学年・第2学年用は教師用のみ	大正7年
歴史	尋常小学国史 上巻・下巻	大正10年 大正11年
地理	尋常小学地理書 卷1・卷2 卷1 日本中心 卷2 世界中心	大正7年
理科	尋常小学理科書 第4学年用～第6学年用	
唱歌	尋常小学唱歌 第1学年用～第6学年用	明治44年
図画	尋常小学毛筆画帖 尋常小学鉛筆画帖 尋常小学新定画帖	明治42年

ナリトセバ此ノ一事ヲ以テ農村ノ不況ヲ完全ニ物
語ルヲ得ルナリ
右様ノ状態ニテ村税ノ滞納ハ勿論村財政ハ益々窮
迫シ当底償還ノ余地ナキモノナリ

(自昭和五年
至昭和七年「村会々議録及議決書」)